



- 7 -

妻まじい本を読んで
しまった。昨年一月

同時代社刊、アイリス・
チャン著の標記の本だ

(二千百円)。アメリカ
での原書の出版が九七
年だから、慰安婦問題
など日本帝国主義蛮行
批判のアメリカにおける
近年の高まりに、この
著作が一定の寄与を
したものとも理解した。

日本帝国陸軍が三七

年一二月一三日南京占
領後に行つた放火殺人
強姦については、中帰
連(中国帰還者連絡会)
に結集した元軍人たち
の苦しい告白などを文
献や映像で見て熟知の
つもりでいた。しかし

年一月一九日に突
入、次の地獄図を描い
たところだった! 「城
内に入ると、日本軍は

「ザレイブオブ南京」
雄伝」の世界の雰囲気
を楽しむなどした。し
かしその地、蘇州は南
京攻略前衛部隊が三七
型は、日本軍占領下南
京に国際安全区を設立
して数十万人の中国人
を救つた二〇名余の欧
米人の指導者=ジョン

・ラーベだ。彼はドイ
ツ人でナチスの党員で
あつた。ヒトラー總統
に「南京大虐殺」の惨状
を報告して同盟国として
止めさせてほしいと
訴える。しかしそれは
無視されたどころか、
母國帰国後の彼はゲ

話には、勇氣付けら
れホッとする。その典
活で、家族は野生の雑
草のステップで命をつな
いでいた。その状態が
四八年に南京市民の知
るところとなり、五〇
年の国民政府首都とし
ての南京の陥落まで、
ラーベに食料が毎月大
量に郵送されたといつ。
ともあれ、「母べえ」と
本書で日本帝国主義
の国内外での蛮行を改
めて認識し、復古主義
と闘うこととを本紙読者
に訴えたい。

下山房雄
(海老名市在住)

何日にも殺人、略奪を
続け、古跡を焼き払い、
何千人の中国人女性
を拉致して性奴隸にし
た。…市の人口は三五
万人から五百人に激減
…」(五〇頁)

寒山寺を訪ねたり、金
一ヶ地帯を一日観光、
本書の「虐げられた
人々の希望の光にな